

# 仕 様 書

調達物品の名称 及び数量	入退室管理システム更新一式
納期	2026 年 11 月 20 日
納入場所	〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 5 番 2 号 公益財団法人放射線影響研究所 広島研究所 TEL:082-261-3131 FAX:082-261-3135
項 目	要 求 仕 様
1. 概要	<p>放射線影響研究所（以下、「研究所」という）において運用中の入退室管理システム「SecureFrontia X」について、入退室管理システム用管理サーバ（以下、「管理サーバ」という。）のハードウェア保守終了に伴い、管理サーバ及び入退室管理システムの更新を実施するものである。現在、広島研究所に設置された管理サーバにより、広島研究所及び長崎研究所に設置された電子錠、IC カードリーダ及び制御装置の一元管理を行っている。本調達では、研究所が準備する仮想基盤上の管理マシンに対し、入退室管理システムの導入、既存システムの設定情報および管理データの移行を実施するとともに、既設設備との連携を維持した状態で運用を継続できるよう更新を行うものとする。</p> <p>なお、広島研究所と長崎研究所は、SINET が提供する拠点間 L2TP サービスを用いて相互接続されている。</p>
2. 機器構成	<p>2.1 入退室管理システム用管理サーバ</p> <p>既設の仮想基盤上に作成する仮想マシンを管理サーバとする。仮想マシンの仕様は、以下のとおりである。</p> <p>2.1.1 仮想基盤:VMware 又は Nutanix</p> <p>2.1.2 論理プロセッサ:4 コア</p> <p>2.1.3 主記憶容量:32GB</p> <p>2.1.4 ディスク容量: C ドライブ 80GB、D ドライブ 500GB</p> <p>2.1.5 OS: Windows Server 2025 Standard</p> <p>2.2 入退室管理システム用ソフトウェア</p> <p>2.2.1 SecureFrontia X plus ライセンス SV 版 一式</p> <p>2.2.2 SecureFrontia X plus 管理者 CAL 2 ライセンス</p>
3. 管理機能	<p>3.1 扉の施解錠状態をリアルタイムで監視できること。</p> <p>3.2 最大 3000 扉まで管理が可能なこと。</p> <p>3.3 Web ブラウザで扉の状態監視および入退管理が可能なこと。</p> <p>3.4 任意のエリアに入室している利用者の一覧を表示し、在室状態をリアルタイム表示できること。</p> <p>3.5 個人および所属グループ単位で扉およびエリアに解錠許可権限を設定できること。</p> <p>3.6 入退室履歴、電気錠状態、エラー情報の記録ができること。</p> <p>3.7 管理者ごとに監視できる扉およびエリアを制限できること。</p> <p>3.8 管理画面にて、電気錠の連続施錠、連続解錠の切替が行えること。</p>

	<p>3.9 スケジュール設定により、電気錠の連続施錠、連続解錠の自動切り替えが行えること。</p> <p>3.10 管理画面にて、解錠許可および失効情報などを一括してネットワーク経由で IC カードリーダーに配信できること。</p>
4. 環境構築	<p>4.1 2.1 項に示す管理サーバは、研究所にて準備するものとし、仮想基盤上に仮想マシンを作成し、OS のインストール及び以下の設定を実施した上で受注者へ提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク設定(通信ポートの開放含む)</li> <li>・バックアップ及びリストア設定</li> <li>・ウィルス対策ソフトの導入</li> <li>・入退室管理システム設定用ログインアカウントの作成</li> <li>・基本、ドメインは不参加</li> </ul> <p>4.2 研究所が提供する管理サーバ上において、入退室管理システムのインストール、設定及び動作確認を行うこと。</p> <p>4.3 既存の管理サーバにおける設定情報を今回準備する管理サーバへ移行すること。</p> <p>4.4 既存の入退室管理システムに蓄積された利用者情報、認証情報及び動作ログ等, 運用管理上必要なデータを移行すること。</p> <p>4.5 広島研究所及び長崎研究所に設置された既設の IC カードリーダーに対し、設定情報の反映及び接続確認を行い、正常に動作することを確認すること。</p> <p>4.5.1 登録済み IC カードにより、電子錠の解錠が正常に行えることを確認すること。</p> <p>4.5.2 入退室に係る動作ログが適切に取得できることを確認すること。</p> <p>4.6 SecureFrontia X plus 管理システムについて、管理者向けの操作説明を実施すること。</p>
5. その他	<p>5.1 調整、動作性能確認及び管理コンソール画面の取扱説明を実施した上で、引き渡し及び検収を行うこと。</p> <p>5.2 動作確認作業の内容について完成図書として取りまとめ、以下の資料を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計書</li> <li>・設定シート</li> <li>・取扱説明書</li> <li>・動作確認報告書</li> </ul> <p>5.3 本仕様書に関して疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項若しくは作業中に発生した問題については、その都度協議の上、適切に対応すること。</p> <p>5.4 既存システムからの移行に際しては、既設設備への影響を最小限とし、業務に支障を与えないよう作業を実施すること。</p>